

2023年9月24日(日)開催
第33回 本庄4st6時間耐久カート大会

大会規則書

総 則

本レースはモータースポーツの楽しさを多くの方に体験して頂くためのレースです、ルールやマナーを遵守することは、社会生活を営むためにも大切な事と考えています。

参加者は、スポーツは『ゲーム』であり『遊び』であるという根本的原点を認識し、心身ともに健康な男女で、勝敗よりも『安全』と『楽しさ』を追求できる方、会話を楽しみ、遊び心を十分に持ち合わせている方に限ります。

この理念を理解しドライビングテクニック、モラル、マナー研鑽の場の提供と親睦を目的として開催します。

人命は何よりも重い、との基本で大会を運営します。

第1章 大会規則

本大会規則は何度も読み返し、必ず熟知して下さい。

1-1 参加資格

- ① 満18歳未満の者は、親権者の承諾書が必要になります。
- ② 参加代表者は、自分の行動は勿論として、自チームの選手・ピット要員・ゲスト・応援団の全員の行動について責任を遵守できる方に限ります。
- ③ 年齢・性別に関係なく『遊びの精神』を第一義とし、決して怒らない事を遵守できる方に限ります。
- ④ 常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品な言葉は慎むことのできる方に限ります。
- ⑤ 故意に他のドライバーの走行を妨害するような走り方をする方は、ご遠慮いただきます。

1-2 参加クラス

- 1 レンタルクラス SOD I (270cc、390cc)
- 2 スポーツカートクラスA 基本的にノーマル無改造車両
対象エンジン スバルEX21, スバルKX21, ヤマハMZ200, ホンダGX200
- 3 スポーツカートクラスB 2010K-TAIルールのノーマルクラス
エンジン本体無改造でキャブ, マフラー, クラッチ等は自由
対象エンジン スバルKX21

1-3 参加受付

特別規則書に準ずる様提出して下さい。

1-4 参加料金

特別規則書に準ずる様提出して下さい。

1-5 参加キャンセル方法とキャンセル料

申込施設へ直接か電話にて行う（メール・FAX・郵便は不可）

参加者はレース当日参加しなくとも参加料を支払う義務を負います

- ・開催日含め7日（2月20日～当日）のキャンセル料・・・全額
- ・開催日を含め14日（2月13日～2月19日）のキャンセル料・・・半額
- ・エントリー日より2月12日までのキャンセル料・・・20%

エントリー費の返金がある場合は、振込手数料を差引き後、残金を口座へお振込します。

1-6 服装

レーシングスーツ又はつなぎ着用、ヘルメット、グローブは必ず着用してください。

※長袖Tシャツ・Gパン・ジャージ等での走行は不可とする。

※ヘルメットのアゴ紐必ず締める事

胸部プロテクターの装着を強く推奨します。

女性、45歳以上の方にネックガードの装着を強く推奨します。首回りの保護に繋がります。

第2章 レース規定

2-1 競技時間

競技時間は6時間とします。尚、競技中断の場合でも計時は停止しません。

2-2 レース中の事故

レース中の事故やカートの故障は全て自分の責任になります。例えばつけられて破損した場合でも自分の責任になります。各自責任を持って走行して下さい。レンタル車両は修理代金が掛かる場合があります。

2-3 公式練習兼予選

タイムスケジュールに従って開催されます。 8時40分～9時20分

2-4 グリッド

グリッド順は練習兼予選のタイムでグリッド順を決定致します。

2-5 スタート

スタートはグリッドスタート方式。国旗スタートになります。

スポーツカートとレンタルカートのスタートを20秒遅らせてスタートをします。

国旗を2回振りスタートします。

反則スタートをしたドライバーにはペナルティ、指示された車両はペナルティピットで60秒のピットストップが指示されます。

2-6 ウェイト

1：本大会においてはウェイトハンデを設けるものとします。（レンタルクラスのみ）

2：レンタルクラスは全チーム決勝レース中16回の義務ドライバー交代を定めます。
（270cc、390cc）

3：女性以外のドライバー平均体重が80キロ以下のチームは、必ず下記の該当するドライバー交代を加えた回数を最低ピットイン回数とします。

※体重測定は装備品（ヘルメット、グローブ等）も装着した状態で行います。

4：規定の回数を行わなかったチームはチェッカーフラッグを受けた周回数より10周減算とします。

80キロ以上	0回		
73.0～79.9キロ	1回	60.0～66.9キロ	3回
67.0～72.9キロ	2回	59.9キロ以下	4回

5：女性はウエイトの計測が免除となります。

6：車両重量（持ち込み車両）

持ち込み車両は参加するドライバー全員の平均体重に車両重量を加えた

Aクラス 145kg Bクラス 155kg

以上とします。重量確認計測はレース終了後入賞チームのみ行います。

女性においては重量計測を免除し一律65kgとして加算します。（但し2名まで）

ウエイトを積載する場合はボルトで完全に固定し、脱落の無いようにお願いします。

2-7 レースの中断

- ① 天候その他の理由でレースを中断する場合は、赤旗をメインポスト上で掲示します。その場合、レース中断の合図と同時に全車両は直ちに徐行し、オフィシャルの指示に従って指示された場所まで進んでください。この間の追い越しは禁止します。
- ② レースの3分の2が経過し再スタートしない場合は、レース終了とする場合があります。
- ③ レース中断～再スタートまでの間、指示があるまで車両に手を触れることは禁止します。

2-8 反則行為

レース競技続行が危険とみなされるドライバーは、競技長はピットインを命じるか、失格とすることができます。

2-9 ピットイン及びピットアウト

- ① ピットインする車両は、片手を垂直に上げ、後続車両に対して合図を送りピットインします。
- ② ピットロード内の速度は歩行速度程度とし、定められた場所で一時停止します。
- ③ ドライバー交代の際はエンジンを止めず、充分注意しながら交代する。
（右側のアクセルワイヤーに注意する。）
- ④ ピットアウトの際は、安全を確認し片手を垂直に上げコースインします。走行車両がある場合は充分注意しながらコースインして下さい。
- ⑤ 参加ドライバーは走行時間を最低40分以上走行して下さい。
- ⑥ **ピットロードは徐行し一時停止場所を設ける。**
- ⑦ 一時停止無視はピットスルーペナルティを加える。

2-10 コース上での停止

- ① コース内で停止した場合、直ちに両手を垂直に上げ後方車両に合図しレースに戻って下さい。
- ② トラブル等によりスローダウンするドライバーは、片手を垂直に上げて安全な場所に停止して下さい。
- ③ トラブル等により再スタートできない場合は、オフィシャルに申し出て下さい。

2-11 車両回収及びセーフティカー（SC）導入について

レース中の事故、トラブル等により走行不能になった車両は

メインポストでSCボードと黄旗を出します。（全ポスト黄旗振動）

SCボードの前を1度でも通過した車両はレース再スタートまではピットイン禁止です。

セーフティカーのコース走行中は追い越し禁止となります。セーフティカー

走行中にピットに入って来た車輛はオフィシャルの指示のもとに最後尾に付くこととする。

セーフティカー先導中、車両回収車がカートを回収に入る。

車両回収後、セーフティカーがコースアウトしメインポストで緑旗でレース再スタートになります。

緑旗で再スタート後、最後尾のカートがメインポストを過ぎたら

コースinオープンとする。

事故車両が多い場合の回収の順番はメインポストより近い順とします。

車両回収後のレース再開はメインポストにて、緑旗が掲示後再開となります。

※セーフティカーがピットに入った周と同時にピットインする事は禁止です。

2-12 プッシングカート導入について

①コースアウトやガス欠、チェーン切れの車両に対して、プッシングカートを導入することがあります。ドライバーは安全な位置に車両を移動して下さい。

②動けなくなった車両はコントロールタワーやポストに向けて手を高く振って助けを求める意思表示をして下さい。

③プッシングカートの導入時は黄旗を提示しますので全車追い越し禁止ですがプッシングカートだけの追い越しは可能です。

④プッシングカートが到着してからドライバーはカートに乗り、そのカートをプッシングカートが押してピットに戻ります。

④ プッシングカートは目立つように車両後方に黄旗を掲げていますが近づかないようお願いします。

2-13 レース中の車両修理、交換

レース中の車両修理は、所定のピットで大会整備委員が行います。車両修理が複数の修理順はピットに回収された順とする。又、修理不能及び修理に時間を要するカートについては予備のカートと交換します。

2-14 タイヤ

レンタルクラス SODI、DUROタイヤ（当社指定）

持ち込みクラスBS：YDS（HF）・DANLOP：DFK2/DRK-SP：ADVAN：ED

また持ち込み車両のみ雨が降った場合、レインタイヤ 銘柄指定無し。

使用は可とする。

2-15 コース外走行

コースをショートカットした場合、ペナルティが課されます。

その場合、対象車両には黒旗と車番を掲示後、ペナルティピットにて60秒停止します。

2-16 ゴール

- ①規定されたレース時間が経過後、トップの車両がゴールラインを通過した時点でチェッカーフラッグが出されレース終了となります。
- ② 順位は、周回数とゴールラインの通過順序によって決定します。
- ③ ダブルチェッカー車には腕立て伏せ10回のペナルティが課されます。

2-17 給油

- ① スタート時の給油は持ち込みクラスA（4ℓ）クラスB（2ℓ）
- ② 1回のピットインで給油出来る量 持ち込み（2ℓ）
- ③ SOD1270、390、は大会中給油回数は3回が義務になります。
- ④ レース開始より「1時間30分～2時間10分経過まで」の40分間 1回目
レース開始より「3時間00分～3時間40分経過まで」の40分間 2回目
レース開始より「4時間30分～5時間10分経過まで」の40分間 3回目

- レンタルクラス 180 秒 スタッフが給油を行います。 給油回数3回
持ち込み車両クラス 180 秒 各参加者の方が給油を行います。給油回数制限無し。
給油所に入れるカートはレンタル、持ち込み含め5台までになります。
それ以上、給油所に入ってきたカートに関してはピットスルーしてコースに復帰しなければならない
レース中の給油場所はスタートしてから10分間は給油出来ません。
スタートしてから10分後に給油場所オープンとなります。
レース終了10分前は給油もドライバー交代も出来ませんので必ず
ドライバー交代規定は10分前に終了させて下さい。
- ⑤ 各クラスとも、給油場所では必ずドライバー交代をしなければならない。
 - ⑥ ドライバー交代の用紙はカートから降りてきた時間とサインをドライバーがする事。

2-18 リタイヤ

受付に申し付け下さい。

2-19 その他の注意事項、罰則

レースの総則を十分にご理解ください。プッシング・ブロッキング及び無為な衝突などの行為は、参加しているドライバーのみならず観戦している方々にも大変不愉快な行為・光景に写ります。これらの行為に対して主催者は厳しくペナルティを取ります。又、不平や不満を決してヘルメット・グローブ・マシン・時として仲間につけないでください。全ての責任は自分にあること、力量不足を悔いてください。

本規則に対する罰則適否は、大会委員会が行います。

違反の内容に応じて、注意・ピットストップ・周回数の減算・失格・出場停止・その他の罰則が適用されます。

- ① フラッグ及びオフィシャルの指示には必ず従ってください。
- ② 黒旗無視には無視した周回数分を減算します。
- ③黄旗からトラブルがある場所まで注意して走行。黄旗後の緑旗は出ません。
- ④行為によるプッシング、幅寄せ、進路妨害を禁止します。
- ⑤酒、薬物を服用中の方、著しく運営を妨げる方は失格とします。
- ⑥その他の危険行為を禁止します。
- ⑦ ドライバーの技量による危険行為に関して【黒／車番掲示】によって指示され、

ピットインペナルティ60秒が義務づけられます。尚この指示に従わない場合失格とします。

2-20 抗議

- ①ドライバーはレース結果について、レース終了から30分以内に抗議を文章にて出す事ができます。その際、申請料20,000円を添えて受付までお持ち下さい。レンタル車両についての抗議は受け付けません。
- ② 大会審査委員会の裁定結果は、関係当事者のみに口頭にて通知されます。
- ③ 裁定に対して一切の抗議は受け付けません。

2-21ピットの使用

- ①ピット内は禁煙です。定められた場所以外では喫煙しないでください。
- ②ピットには数に限りがありますので、ドライバー交代などで使用した後はすみやかにピットから離れてください。
- ③ピットロードはレーススタート後10分、ゴール前10分以外はサインボード係員以外立入り禁止です。サインボードは各チームで用意してください。

2-22 オフィシャルの信号

競技中のドライバーに対する指示は、次の旗もしくは信号灯が使用されます。

赤旗： レース中止、全てのカートは競争を止め安全を確認しながら即時ピットインする

黄旗： トラブルがある場所まで注意して走行。

黒旗： 走行中止、指示された番号のカートは直ちにピットイン。

緑旗： レース再開

チェッカー旗： レース終了。

2-23 損傷の責任

- ①競技期間中に起きたドライバー・ピットクルー・ヘルパーの損傷は自らが負うものとします。
- ②レース中の車両故障が発生した場合、全額チーム負担となります。

2-24 大会役員の仕事

大会役員は職務に最善を尽くします。事故発生において、主催者、サーキットオーナー、大会役員は損害など一切の弁償の義務を免除されています。

2-25 スポーツカートクラス参加者の方

レンタル車両の追い越し時は、注意して下さい。お互いを思いやる走行をお願いします。

2-26 クラッシュ共済

当サーキットの施設(クラッシュパッドカバー・ガードレール等)を破損してしまった場合、破損してしまった個人の全額負担とする。

そのための保険としてチームごとに任意でクラッシュ共済に加入することができる。

1口3,000円 最大6口まで加入可能。

1口あたり25,000円までガードレールやクラッシュパッドの交換費用を保障。

加入は当日の走行開始前までとし、チームでの加入のみとする。

加入希望チームは当日、受付時に代表者が別紙に記入。その場で提出し共済代を支払うこと。